

1 めざす学校像

「やる気いっぱい やさしさいっぱい 夢いっぱい」
「やる気いっぱい やさしさいっぱい 夢いっぱい」の教育実践を通して
「確かな学力」「豊かな心」「健やかな身体」を育てます。

「やる気いっぱい」 様々なことに興味や関心を持ち、「考えてみよう」「やってみよう」と意欲を持って行動する子どもたちの姿です。
 「やさしさいっぱい」 自分をかけがえのない存在として大切に思うとともに、家族や友だちなど自分以外の人のことも大切に思い、行動する子どもたちの姿です。
 「夢いっぱい」 社会に目を向け、夢を持ち、その実現に向けて、行動する子どもたちの姿です。

2 現状と課題

現 状	課 題
学力向上のさらなる取組	・分かる授業のための授業力の向上 ・家庭学習の定着 ・ノーメディアデーの定着 ・対話を通して、自分の考えを広げ深め、表現できる子どもの育成 ・英語教育の充実
生徒指導上の問題行動の発生	・いじめの未然防止及び発生時の迅速な対応 ・相談機能の充実
運動への関心・運動能力の2極化	・体育授業の振り返り及び充実 ・子ども自らが運動に親しむための手だて
外国につながる児童の在籍	・日本語指導と学力保障の充実 ・多文化共生社会実現に向けた人権感覚の育成
特別な配慮を要する児童が通常学級に在籍	・一人一人に寄り添う指導の充実 ・保護者との信頼関係の構築 ・関係機関との連携
教職経験10年未満の教員が高い比率で在籍	・日常的な研修の充実 ・教師相互の学び合いの充実 ・三重大学教育学部等との連携
教職員の過重労働・勤務時間の長時間化	・時間外勤務時間の縮減 ・学校が担う役割の整理 ・定時退校日等の設定

本校の強み

- ・ 児童は助言を素直に受け入れ、大人の期待に応えようとする向上心がある。
- ・ 三重大学教育学部と連携を行い、大学教員や学生の支援が期待できる。
- ・ 三重県総合博物館及び三重県立美術館等、学校近隣にある公共施設を教育資産として活用できる。
- ・ ICT機器の環境整備が進められ、機器活用による授業の充実が期待できる。
- ・ 保護者や地域が教育熱心で、学校教育活動に理解が高く、協力的である。
- ・ 職員は、自己研鑽に励み、資質と能力の向上に努めている。

3 中長期的重点目標

- (1) 子どもが意欲をもって取り組む学習と生徒指導の充実
- (2) だれもが分かる授業への質の向上
- (3) 仲間を大切にする心を育てる教育と一人ひとりを大切にする教育の充実
- (4) 保護者・地域とともにある学校・安心安全な学校づくり
- (5) 教職員が子どもの教育のために力を発揮できる学校づくり

4 具体的な行動計画

- (1) 「学びの十か条」による学習指導と生徒指導の充実
- (2) 「授業づくり十か条」による授業の質の向上
- (3) 仲間を大切にする心を育てる教育と一人ひとりを大切にする教育の充実

- ① 早寝 早起き 朝ごはん
- ② あいさつは 相手を見て 心をこめ
- ③ きらめず 難しいことにも 挑戦しよう
- ④ 読書で 頭と心の 栄養を
- ⑤ きまりを守って 楽しい生活
- ⑥ 考えを 仲間とともに 深めよう
- ⑦ 整理して 筋道立てた 説明を
- ⑧ 分かりやすく書こう！ 2分間作文
- ⑨ 月に2回は「家庭学習の日」
- ⑩ 家庭学習は テレビを消して集中しよう！

- ① 必要なものをすべて片づけて授業開始すること。
- ② 時間どおり始めて 時間どおりおわりこと。
- ③ めあて・課題・学習内容を明確に示すこと。
- ④ 1指示1動作にし、指示は短く的確にすること。
- ⑤ 「個人で考える」時間を必ずつくること。
- ⑥ 理由を話したり書いたりさせること。
- ⑦ 話し合う時間・自分の考えを見つめ直す時間を必ずつくること。
- ⑧ 子どもの発言を子どもに返すこと。
- ⑨ 子どもをほめること、発言を認めること。
- ⑩ 授業の最後に振り返りの時間をとること。

- ① いじめ・体罰のない学校づくりを行います。
- ② 自他の人権を大切に仲間づくりを進めます。
- ③ 社会における様々な人権問題についての学習を進めます。
- ④ 外国につながる児童の教育の充実を図ります。
- ⑤ 特別な配慮が必要な児童の教育の充実を図ります。

- (4) 保護者・地域とともにある学校・安心安全な学校づくりの充実

- ① 学校教育活動の様子を保護者・地域に積極的かつ分かりやすく発信します。
- ② 保護者や地域等と連携した災害や不審者等に強い安心安全な学校づくりを行います。
- ③ 三重大学教育学部と連携した特色ある教育活動を行います。
- ④ 校区の幼稚園・保育園、中学校等と連携した特色ある教育活動を行います。

- (5) 教職員が子どもの教育のために力を発揮できる学校づくり

- ① 教職員が相互に学び合う職場風土を醸成し、学力向上・体力向上に資する授業実践に向けた職員研修の充実を図ります。
- ② 打ち合わせの縮減、業務の見直し、効果的な会議運営等を行い、子どもと向き合う時間の確保に努めます。
- ③ 三重大学教育学部等との連携により、自己の専門性を高められる自主的な職員研修の充実を図ります。
- ④ 定時退校日の設定等による教職員の時間外勤務の縮減を図り、教育のために力を発揮できる環境を整えます。